

12 ²⁰²⁵
Dec

KAN ^{No. 237}

KAN



本をひらけば
心がつながる



本をひらけば、
心がつながる

地域で育む 「読み聞かせ」と 「家読」の輪



イベント会場での読み聞かせの様子。たくさんの人々に楽しんでもらえました



「読み語り」を始めて、
34年ほどになります。
千代田おはなし会『ケム
ケム』の活動を通じて、
さまざまな場所で本を
読んできました。

活動を続けるうちに「家庭の
中で本に親しむ環境をつくりた
い」という思いが強くなり、家族で
読書の習慣を共有する「家読」の取組
を始めました。

地区の集落センターに本を集めて貸し出し、
来館が難しくなった方のとへ本を届けることもあります。最初は「本なんか読まないよ」と言っていた方が、「この前の本、もう読んでしまったよ」と連絡をくれる。そんな瞬間が何よりうれしいですね。

祖父母と孫と一緒に本を読んだり、地域に伝わる昔話を語り合ったり。家読を通じて家族の会話が広がればいいなと思います。受動的なテレビの時間を、少しでも能動的な読書の時間に変えてもらえたうれしいです。

この世界は、誰にでも開かれています。家読や読み語りのことなど、気軽に相談してください。

家読姉

家読姉代表／
佐賀県親と子の
読書会協議会副会長
吉井 久子さん(中央)



家読姉のイベント情報

クリスマスおはなし会 &お正月リースづくり

日時 12月21日(日)10時～
会場 姉集落センター

材料費 300円、木工用ボンド、
ハサミをご持参ください。

参加される方は事前にお電話ください。

申し込み先 ☎44-5439(吉井)

先着40名限定!!
お楽しみ
抽選会も
あるよ!



昨年の
クリスマス
おはなし会
の様子



この楽しさを伝えたい——。そんな思いで活動する2つの団体を紹介します。

子どもたちへの読み聞かせや、家庭での家読など、本に親しむ取組は、地域に根づき、世代を超えた交流を生み出しています。

本を通じて会話が生まれ、笑顔が広がり、心がつながっていく。そんな小さな輪が、少しずつ広がり、地域の大きなぬくもりとなることを目指し活動されています。

読書推進運動を20年
続けたことで佐賀県から
表彰されました！



地域の小学校で読み聞かせを始めて、気づけば20年。今では学校だけでなく、地域のイベントにも活動の場を広げ、小道具や効果音を使った演出にも挑戦しています。

子どもたちの反応を見ながら掛け合いを楽しめるのが、この活動の一番の魅力。20年の活動の中でも、子どもたちが笑ったり驚いたりする姿は変わらず、いつも元気をもらっています。「今日の本、おもしろかった！」と声をかけてもらったり、図書館でその本を探している様子を見ると、本当にうれしくなります。

会のメンバーで集まって企画を考えたり、本を選んだりする時間も楽しいひとときです。

最近では神埼出身の文豪・吉田絢二郎の『絵本シリーズ』④と⑫で挿絵を担当するなど、活動も広がっています。

読み聞かせは、若い人からお年寄り、男性など、いろんな声があってこそ表現が豊かになります。興味がある方は、ぜひ仲間になってください。いつでも歓迎しています。

問い合わせ ☎53-4801(喜多)

おはなし宝箱

おはなし宝箱代表
喜多 敬子さん(下段右から2番目)

西郷地区に伝わる
大蛇のお話の小道具をつくりました

西郷小学校の朝の読み聞かせの時間。児童たちは聞き入ってくれています



10/14

チエルシーフラワーショー金賞受賞
石原和幸さん・安武成晴さん(神埼市在住)が市役所を訪問

世界最高峰のガーデニングの祭典「チエルシーフラワーショー」で金賞を受賞した神埼市在住の庭師・安武成晴さんが、造園デザイナー石原和幸さんと共に表敬訪問されました。

安武さんは石原さんと2年前に出会い、庭園制作に携わるほか、2023年には「梅の花神埼村」にカフェを開業し、地域活動を広げています。

庭づくりや緑化活動を通じた地域活性化についても話が交わされ、安武さんは「この経験を地域の発展に活かし、多くの人に自然の素晴らしさを感じてもらいたい」と話されました。



11/2

神埼市相撲クラブが
大嶽部屋と交流会！

大相撲九州場所を前に、大嶽部屋の大嶽親方と力士の納谷さん、新屋敷さんが櫛田宮相撲場を訪れ、神埼市相撲クラブと交流しました。

子どもたちは力士からアドバイスを受けながら真剣な表情で稽古に取り組みました。また、ぶつかりでは幼児・児童が数人で力士に挑み、笑顔と歓声が溢れました。

大嶽親方は「子どもたちから貰った力で九州場所も頑張ろうと思った」と話され、同クラブの山本朱莉さんは「力士がしっかり攻めてくれて、楽しかった」と感想を話しました。



11/1~16

秋の山里の風物詩
脊振町倉谷地区でかかし村開催



脊振町倉谷地区で11月1日から16日まで「かかし村」が開かれました。

10回目となる今年のテーマは「まるごと大運動会」。かかしで運動会を再現し、観光客にアピールしました。

地元の「脊振を愛する会」が交流人口を増やそうと取り組み、いまや秋の山里の風物詩になりました。徒競走や玉入れ、綱引きなどを表現し、大リーグで活躍する大谷翔平選手も登場。ユーモラスな姿に来場者も「よく作り込んであるね」と感心していました。

11/4

市営住宅姉団地がリニューアル
快適に安心して暮らせる住まいを



老朽化が進んでいた千代田町の市営住宅「姉団地」の建て替え工事が完了しました。

姉団地は、低所得等で住宅に困窮されている方向けに1973年から75年にかけて建設され、今回、バリアフリー設計や防災面の向上など、現代の生活ニーズに対応した住まいとして生まれ変わりました。

落成式で市長は「住宅確保が難しい人たちに、安心して暮らしてほしい」とあいさつしました。関係者による部屋の内覧もあり「広くて日当たりが良い」と感想を述べていました。

トピックス

11/8 郷土料理を堪能 高取山公園感謝祭＆ミニマルシェ

脊振町の高取山公園で「感謝祭＆ミニマルシェ」が開かれ、来園者は脊振の出荷部会がイノシシの肉を使い作ったシシ汁・シシカレー、沢山の小鉢などの郷土料理を堪能しました。

佐賀市から訪れた女性は「シシカレーは初めて食べたが、とっても美味しかった。また来たい」と話しました。

また、キッチンカーやバンド演奏、ダムの模型展示、ヤマザクラの植樹体験などもあり、多くの親子連れが秋の休日を楽しむ姿が見られました。



11/11 平和を願って 戦没者追悼式

神埼市中央公民館で、神埼市戦没者追悼式が厳かに行われました。遺族や来賓など約120人が集まり、英靈に敬意を表し、献花を行いました。

式典では、市長が「多くの命が犠牲となった歴史を忘れず、平和への貢献を追求したい」と述べ、参加者に対し平和の大切さを改めて呼びかけました。

今後もこのような追悼の機会を大切にし、次世代に平和の尊さを伝えていきます。



11/8 みんなで育てたサツマイモを堪能！ 石井ヶ里地区で秋祭り



石井ヶ里地区恒例の秋祭りが石井ヶ里公民館で開かれました。

今年は初の取組として、耕作放棄地を使って地区住民でサツマイモを栽培。秋祭りでは天ぷらに調理し、焼き肉とともにみんなで食べました。

バルーンアートや射的などの「遊びコーナー」は子どもたちが次々に挑戦。みんなで輪になっての総踊りや老人クラブのダンス披露、お楽しみ抽選会などもありました。みんなで育てたサツマイモは、年末の「しめ縄作り」の際にも食べることにしています。

11/13 「同行援護」を実習で学ぶ 清明高生が歩いて体験



神埼清明高校生活福祉系列の2年生28人が高校から市役所までを歩き、視覚障がい者の外出をサポートする「同行援護」の外出支援と情報支援を実習しました。

アイマスクをつけた生徒とサポート役の生徒がペアとなり、サポート役は進行方向の様子を伝え、安全を確認しながら「緩い登り坂です」「右に直角に曲がります」と案内。

参加した森柚希さんと吉原咲さんは「伝えるべき情報が多く、何をどう伝えればよいか迷った」「今回はよく知る所を歩いたが、知らない場所だったら大変だと思った」と話しました。